

# ドムハウス

Dom House  
(長野県木島平村)



外観

約 10 年ぶりに木島平にやってきた。今回紹介するのはドムハウスだ。ドムとは英語で言うドームのことであり、ヨーロッパに実在する山の名前だそうだ。

ドムハウスは木島平のゲレンデ中腹部にあり、ゲレンデまで徒歩 0 分。出入口からいきなりリフト沿いに滑走を開始することが可能だ。

ドムハウスはペンションでもあるが、木島平プロスキースクールの本拠地でもある。当スクールは基礎スキーから競技スキーまでレッスンを行っており、我々取材班はロシニョールマスターキャンプという合宿に参加。スロベニア人でアルペンスキーの元ワールドカップ選手であるユーレ・コシールを招いて、特別レッスンとタイムレースが行われた。ロシニョールの来季テストスキーの試乗会も同時に開催され、ディナスターも含めて 20 本近くの板が用意されていた。

ドムハウスのスタッフの一部はスキースクールのインストラクターでもあるため、ラウンジでのスキー談義も大変有意義である。ドムハウスでは客室で飲酒することを禁止しており、代わりに持ち込んだ酒をラウンジで飲むことが可能だ。心ゆくまで、飲み明かすことができるというわけだ。

スキーで疲れ切った、そして冷え切った体には風呂が一番である。前置きが長くなってしまったが、本題であるドムハウスの風呂を紹介しよう。風呂は最下階にある。男女別になっており、脱衣室には箆が置かれている。したがって、貴重品は部屋に置いてくるか、フロントに預けよう。浴室は細長い形状になっている。洗い場が 3 か所あり、一番奥にシャワーが設置されている。人がいなければ、浴槽から湯をくみ上げて体を洗うのが一番速

く楽だ。洗い場にはシャンプーとボディーソープが具備されている。浴槽も細長い形状をしており、定員は 4 人ほど。湯温はやや熱めであった。私はぬる湯が好きなので、少々水で薄めさせてもらった。

入浴しているとドムハウスのスタッフが 1 人入ってきた。彼は日本人とエジプト人のハーフであるという。この宿は国際色豊かだ。スタッフとの裸の付き合いができるのもドムハウスの魅力である。

ドムハウスにはスキーヤーに必須のチューンアップルームも完備。フロントで鍵をもらい、別棟のプレハブ小屋へ。ストーブはセルフサービスで着火。広さは十分にあり、チューンアップ台は 2 台あるので、4 人が同時に作業できる。

ドムハウスはスキーヤーにとってパラダイスである。ここに来てよかった。

- **名称**：ドムハウス
- **所在地**：長野県下高井郡木島平村上木島 3278-273
- **電話**：0269-82-4083
- **営業時間**：要確認
- **定休日**：無休
- **入浴料**：宿泊者は無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2016 年 1 月 23 日（土）、24 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会東京支部